

新型コロナ後遺症に対する EAT 講習会

※本講習会は定員に達したため、締切となりました。

新型コロナの後遺症治療においては、EAT(Epiphyaryngeal Abrasive Therapy:上咽頭擦過療法、B スポット療法)の有効性が明らかになっています。本講習会では、診療所におけるEATの実践について、講義(20分×2)、実演(60分)を通じて学習します。

講師①：申 偉秀 氏（関町内科クリニック 院長）

5類感染症となった新型コロナ感染症ですが、頭や体の働きが低下する「コロナ後遺症」に悩む患者さんが増えています。後遺症患者さんでは「慢性上咽頭炎」が必発で、治療としての「上咽頭擦過療法=EAT」が有効です。かかりつけ医の先生が簡易に行えるEAT実習会をいたしますのでふるってご参加ください。

講師②：平野 浩二 氏（ミルディス小児科耳鼻科 院長）

新型コロナウイルスはオミクロンに変わり、重症化する人は激減しました。それにもかかわらず、罹患後に症状が長引く人が多いのです。重い人は倦怠感から仕事をやめ、軽い人は風邪と言われてしまいます。EAT(B スポット治療)は、双方の症状を劇的に改善する手技です。手技そのものは非常に平易で、今回の講習会では、そのコツを伝授します。

○日時：7月14日(日) 10:00～12:00

○会場：東京保険医協会セミナールーム
(JR「新宿駅」南口より徒歩約10分)

○対象：会員医師

○定員：先着30名 ※定員に達しました

○参加費：無料



【申込方法】下記の参加申込書に必要事項を明記のうえ、東京保険医協会までFAXにてお申込みください。

※本講習会は定員に達したため、締切となりました。

【問合せ先】東京保険医協会研究部 TEL：03-5339-3601